



熊本国体への歩み

☆ 各開催地委員会も発足する ☆

熊本国体決定までの歩み……★

昭和二十八年に、国体を熊本で開催しよう誘致運動をはじめから六年目、さる三月末、正式に第十五回国体を熊本で開催することが決まりました。

その間の経過を辿ってみますと、昨年十二月末、県と各種目開催地の経費分担や、二十九の開催種目、それに十市六町村にわたる開催地が決定されました。そして、直ちに開催申請書を文部省と日本体育協会へ提出されました。その結果視察団により、競技施設を中心に、宿泊輸送、競技運営などについて、いわば、熊本で国体が開催できるかという総合視察が行われましたが、ついに熊本で開催することが正式に決定されたわけです。

事務局の業務態勢を強化……★

したがって、国体事務局では、副知事を局長として、四つの部が十一の部に拡大され、それぞれ職員が配属され、事務局の庁舎も、県庁裏門入口の新庁舎に移

り、本格的な、国体態勢がかまえられるようになった。

各開催地委員会も発足……★

一方熊本国体の決定に先立ち、三月末までに山鹿市と上松求麻をのぞく開催地に、準備委員会が発足しました。そして、各種目毎の具体的な対策や準備がはじまりました。

城内プールの基礎工事進む……★

さらに、国体競技のうち、一つの大きな問題であった水泳プールの施設は、熊本城内御幸坂際の旧レッド地区に建設されることになり、四月十日のよき日に献式が行われました。

こうして、競泳プールや児童プールは七月に、飛込みプールは八月にそれぞれ完成する予定で、目下工事が急テンポで進められています。

このプールは、日本水泳連盟で設計されたもので、完成後は市民の公園プールとして、快よい憩いの場となることとして

競技場の具体的対策……★

国体は、天皇、皇后両陛下をはじめ多くの関係者や選手団、報道関係者、それに約一万五千人の参加者をむかえることになり、又、陸上競技場だけでも三万五千人、野球場、競輪場を合わせると五万の観衆が集まるわけで、狭い水前寺競技場周辺の人の動きや、車の廻り方については多くの困難が予想されます。この点については、さきほどの総合視察においても指適され、

一 案、野球場を他へ移す。

二 案、競輪場クラブハウスを他へ移す

以上のことを考慮するよう要求があつていきますので、これらの具体的な検討が細かく進められています。

(第十五回国体事務局)

★国体施設についてのスナップは九頁をごらん下さい。

五月の選定映画

(熊本県青少年映画等専門委員会)

★青少年向推薦

“オーケストラの少女”

貧しい音楽家の父を愛する一少女の機智によつて、百人の失業楽士たちが、華やかな大演奏会を開くことが出来るという物語を巨匠ストロフスキーの指揮する数々の名曲に乗せて描いたもので明るく楽しく、凡そ青少年にすめ得る最良の娯楽映画の一つ。(二時間三〇分)

“母子草”

生さぬ仲という事実を秘めて、女手一つで三人の子供達を育てた母親のひたむきな生活を中心に母子の清らかな愛情を描いたもので、青少年の愛情を豊かに育てる作品。(二時間二〇分)

“お早よう”

幼い子どもたちの目につる大人たちの無敵や無理解に對して、子供たちの可愛いレジスタンスを描く明るさに満ちた映画で大人にも青少年にも楽しめる映画。

青春物語 再映

紅の翼

裸の大將

隠し砦の三悪人

裸の太陽

★非青少年向指定

可愛い悪魔

女王蜂

氾濫

女は一回勝負する

5 月 中
子供たちをまもろう

青少年保護育成運動月間

県政質問箱

この質問箱は、県政についてのご質問に對してわかりやすくお答えする皆さんの窓口です。

問

私の家の近所に中学二年になる男の子がいますが、中学へ入学してからというもの、学校へ行くのを嫌がり、いつも欠席し勝ちで、その上悪いことばかりしている状態です。しかも、家出や外泊がしばしばあるのですが、両親は全くの放任状態なのです。

私達近所の者や、又学校の方からも再三注意はしていますが、殆んど非協力的で困っている始末です。学校でも町内でも、何とか真面目に立ちなせらるる方法はないものかと、色々話合ってみました。その対策に頭を痛めています。近所に住むものとしては、いささかさしでがましいことだとは思いますが、子供の将来を考えればこのまま放置するのも忍びず、いいお考えを拝借できたらと思うのですが (八代市社会員)

答

お尋ねのことについては、大変ご心配の様子ですが、このようなことは、よく見られることです。

このご相談と同じようなケースが前にもありましたので、まづその話を簡単に紹介してみよう。その男の子というのは、中学に入学したものの、典型的な学校嫌い、担任の先生が、たびたび家庭を訪問しても、逃げてしまつて本人に会えず、父親は病気で毎日家族達にあたりちらして、ことにその子にはひどく当たつていたようです。

母親は旅館の女中として働きながら家計を保つている関係上、子供の世話には全く届かず冷たい母親のいない環境を余儀なくされて、この子は、家で叱られると家を出し無断で外泊することが再三だつたようです。その上町内では、近所の家に忍び込み、物を盗んだり、店のものを万引したりして、手におえなかつたという状態にまでなつたのです。

そこで、町内の人々たちで、何とか正しく導かねば子供の将来もあることだからと、このことを児童相談所へ相談にのられたのです。児童相談所では、早速その子の家庭を調べてみると、家の中は雑然として汚れ、その暗い一隅に病気の父親が一人横たわつていました。そこで、その子の話をして、いろいろ話合つて見たところ、父親のいうことには、「あの子のことなら放つておいて貰いたい。今さらあの性格はどうにもならぬと思う。むしろなくなつてくれた方がましだ。どうか構わないでほしい。」といつた具合なのです。それはいかにも迷惑千万だつたでしょう。しかし、その子の悪事は深まる一方で、ますます不安が募るばかりでした。そこで、一応

家庭とその子を隔離してみる必要があるのではないかと考え、児童相談所の一時保護所に、仮に保護するように話し、約一週間児童相談所で行動観察をしたわけです。ところが自発的な行動は全く見られず、内向的な性質の持主だということがわかりました。そしてその線にそつて、子供の補導を行うと共に、約十回ぐらゐ家庭に出かけては、親たちとじっくり話し合ひ、子供の性質が明るくなつたことや、いろんな点で子供が安定した姿になつたことを、細かく話したところ、父親も考えを反省し、その子を迎え入れる気持ちになりました。そして現在では中学を卒業して、自動車の運転助手として希望をもつて元気な若者として、自動車の場合だと思ひます。

あなたの場合ですと、お住いが八代市内ですから、八代児童相談所へおいで下さい。児童福司といつて、児童についての相談や指導を専門にしている人がご相談に応じます。そして、その子の家庭の状況が、生い立ち、学校での状況、学校での友達との関係、生活の状況など詳しく調べますし、又心理検査や精神検査を行います。

その結果、一時保護をしなければならぬ時には、保護をして、その子供に應じた相談や指導を行うようになつております。青少年のこのいつた犯罪の動機は、多くは社会環境の欠点にあるもので、大人たちの温い思いやりのある協力の手がこの際大きく望まれるところなのです。どうかあなたの町内で問題を起している子供さんにも、町内や学校が冷たい目で見られるようなことがなく、おほらかに

五月は、ご存知のように青少年保護育成月間にあたっています。青少年の育成にはいろいろと難しい問題が多いものです。そこで今月は子供の問題を掲載することにしました。